

途自動車でもこれに含まれるものが多い。

(2) 小型自動車 比較的小さい自動車がこれに属する。なおほとんどの3輪自動車はこれに含まれる。

(3) 軽自動車 2輪自動車の大部分がこれに属する。なお比較的小型の低速農耕作業用自動車もこれに含まれる。

(4) 特殊自動車 主として走行装置・駆動装置の構造が、一般のものとその趣を異にしている自動車がこれに属する。カタピラ(caterpillar)を持ったもの、ロードローラ、ブルドーザ、グレーダ等がこれに含まれる。

2 用途および形状による分類

(1) 乗用自動車 (passenger car) 乗用に供する自動車をいう。その車体の形状によっていろいろの名称がある。

ア 箱型乗用自動車 (closed car)

(ア) セダン(sedan) 4枚とびらの箱型車体の乗用自動車。座席は通常2列で、乗用自動車の代表的なもの。2枚とびらのものはコーチ(coach)と呼ばれるが、最近では区別なくセダンと称されている。4~8人乗

(イ) クーペ(coupe) 2枚とびらで座席は1列だけ。2~3人乗

(ウ) リムジン(limousine) 4枚とびらのセダン(4 door sedan)と類似するが、運転者室と客室が落し窓または引き窓付の隔壁で仕切られているもの。インペリアルセダン(imperial sedan)とも呼ばれる。

(エ) タウン(town) リムジンと類似するが、運転者室に屋根のないもの。

(オ) コンバーチブルセダン(convertible sedan) セダンと類似するが、車体の屋根だけ折りたたむ。ドロップ・ヘッド(drop head)とも呼ばれる。

(カ) コンバーチブルクーペ(convertible coupe) 屋根だけ折りたたむクーペ。カブリオレ(cabriolet)とも呼ばれる。

(キ) ランドウ(landau) 車体後部 $\frac{1}{4}$ くらいがほろになっており、折りたたむもの。セダンと類似する。

(ク) ステーションワゴン(station wagon・写真-1) 車室後部に座席と別段の仕切りのない荷物積載場所があり、車体の後面に荷物の出し入れができるとびらを備える。車体は木製のように見えるが金属製のものが多い。座席は通常2~3列

(ケ) サババン(suburban) ステーションワゴンと同じ構造のものであるが、車体に木わくの意匠がないもの。

イ ほろ型乗用自動車(open car)

(ア) ロードスター(roadster) 座席は1列だけで2~3人乗。ほろは折りたたむ。

(イ) フェートン(pheaton) 座席は2列でほろは折りたたむ。別名ツーリングカー(touring car)とも呼ばれるが、この場合は車室が長く、補助座席を備えているものをいう。

(2) 乗合自動車(bus) 用途としては乗用であり、乗用自動車の部類に入るが、車体が大きく、多数の人員が収容でき、主として乗合旅客自動車運送事業の用に適するのでこの名がある。乗車定員11人以上のものがこれに属するものとされている。

(3) 貨物自動車(truck) 一般に物品を積載し、これを運送することに用いられる自動車をいい、通称トラックと呼ばれる。荷台の形状等により、各種の名称がある。

ア カーゴトラック(cargo truck・写真-2) 貨物自動車の総称的呼称であるが、この場合は特に普通の荷台を架装したトラックを指す。単にトラックともいう。

イ ダンプ自動車(dump truck・写真-3) 荷台を後方または側方に傾斜させ、積荷を落し降す機構を持つトラック。主と

して土砂・石炭等の運搬に使用され、一般にダンプトラック、または単にダンプと呼ばれる。

ウ デリバリーバン(delivery van) 有がい荷台を有するトラック。車体後面に物品積み降し口がある。通称バンといい、小型のものをライトバン(light van)と呼ぶ(写真-4)。特にキャブオーバー型のバンをルートバン(root van)という。

エ ピックアップ(pickup・写真-5) 乗用自動車の後部荷物入れ(トランク)のおおいを除いて、荷台としたような形状を呈するトラックの名称。運転者席の後にさらに1列の座席がある。

(4) 特殊用途自動車 人または物品を運ぶ以外の用途を持つ自動車をいう。さらに特種な使用目的を満足するものもこの部類に入る。

ア ロードローラ(road roller) ローラの車輪によって地面、道路を転圧して平坦にする。

イ ブルドーザ(bulldozer) 車両前端に取り付けられた排土板で土砂の掘さく・盛り土・地ならし等の土木作業を行う。

ウ グレーダ(motor grader) 道路・地表のけずり取り、じり道の敷きならし等に用いられる。

エ 雪上自動車(snow sledge・写真-6) 雪の上を走行できるように幅の広いカタピラを持った自動車。雪国での交通に適する。

オ 除雪自動車(motor snow-plough・写真-7) 道路上の雪を排除するのに用いられる自動車で、除雪板式、回転羽根式等がある。

カ タンク自動車(tank lorry・写真-8) 荷台のかわりにタンクを備えたもので、ガソリン輸送車(gasoline lorry)を主としてタンク自動車と呼ぶが、給水車(water lorry)等もタンク自動車である。

キ クレーン自動車(crane truck・写真-9) 起重機を装備した自動車。建設作業場等において使用される。

ク レッカー(wrecker, wrecking car・写真-10) 簡単な起重機、ウインチ、予備部品、消火器等を備え、自動車の事故現場の収拾に使用される。

以上のほか、消防・救急・警察・放送・宣伝・工作・架線修理・ふん尿・霊柩・冷蔵・冷凍・架橋・水陸両用・移動郵便等の自動車が特種用途自動車として数えられる。

3 原動機による分類

(1) 内燃機関自動車

ア ガソリン自動車

イ ディーゼル自動車

ウ 代用燃料自動車 木炭・薪・カーバイド・天然ガス等を燃料として使用する。ガス発生炉、圧縮ガスボンベ等をとう載するほかは、ガソリン自動車と相違したところはない。

エ ガスタービン自動車

オ ジェット自動車

(2) 電気自動車 電動機を動力とし、電源としてとう載する蓄電池から電流を取って走行する構造のもの。

(3) 蒸気自動車 蒸気機関を動力としたもので、蒸気を発生させるボイラをとう載する。自動車の発祥時代におけるもの。

4 車輪の数および位置による分類

(1) 4輪自動車

(2) 6輪自動車 後車軸が2軸のもの。主として重量車に多い。

(3) 3輪自動車

(4) 2輪自動車